

13. 近代世界の確立とアジア

欧米諸国の近代化

イギリス…16世紀、女王①の時代に、②会社の設立など

→海外発展の土台を築く

③を確立しようとする国王と議会が対立→1642年、

④革命→1688年、⑤→権利の章典を發布

アメリカ…イギリス本国による新税に抗議し独立を目ざす→1775年、独立戦争→1776年、

⑥発表→戦争に勝利し、アメリカ合衆国を立てる

フランス…国王ルイ14世のころ③を確立、18世紀、啓蒙思想の広まりフランスの⑦は『社会契約論』で人民主権を唱える→国王の専制政治や社会制度に対して批判が強まる

→1789年、⑧革命がおこる→国民議会在⑨を発表

⑩…イギリスで蒸気機関が新しい動力として利用され、工業の生産力が向上→社会や生活が大きく変化→安価な製品を世界中に輸出したイギリスは「⑪」とよばれる

・⑫主義…資本家と、賃金でやとわれて働く労働者による経済のしくみ

・⑬主義…生産手段の共有など平等な社会の実現を目ざす。マルクスなどが唱える

欧米諸国の発展とアジアの植民地化

アメリカ合衆国…南部と北部の州の間で対立が激化し、1861年、⑭戦争がおこる

→⑮大統領は奴隷解放を宣言、北部が勝利

ロシア帝国…19世紀中ごろ、クリミア戦争に敗れる→農奴解放令を出す

ドイツ…プロイセン王国の⑯首相が帝国として統一。富国強兵を

インド…②会社が進出。⑩のあと、安価な綿織物をイギリスが大量に輸出→インドの綿産業がおとろえる

→人々の不満が高まる→1857年、⑰がおこる

中国(清)…イギリスがインド産の⑱を密輸→清が厳しく取りしまる→1840年、⑲戦争がおこる

→イギリスの勝利→⑲条約

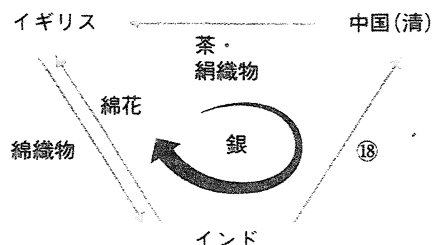
⑳→重税を課せられ生活が苦しくなった

農民らが、1851年㉑を

指導者とする㉒をつくる→外国軍や

地方の有力者が編成した軍の力を借

りた清により滅ぼされる



写し用